

あ と が き

このたびは研究紀要第59集をご覧いただき、ありがとうございます。

今までにない新たな価値を生み出し様々な課題や困難を克服しようとする「Society5.0」時代を生き抜く子どもたちを育てるために、平成29年告示の中学校学習指導要領に示された内容を着実に身につけさせることが求められています。その学力を身につけさせるためにはどのような手立てが効果的であり、成果をどのように見取るか。このような視点から、本校では今年度より「挑戦心を育む『令和の日本型学校教育』の実現」を研究主題に掲げ、4カ年計画で研究を推進しております。1年次は副題を「挑戦心を引き出す学習指導と生徒の個別最適な学びの在り方」として研究を推進し、生徒による自らの「挑戦心」の意識化を試みました。

今年度はCOVID-19の世界的流行から3年目となりました。終息に向かいつつあると信じたいところではありますが、未だ予断を許しません。そのような社会情勢下ではありますが、感染症対策を万全に行った上で、令和4年5月には本校において中学校教育研究協議会の開催が叶いました。おかげさまで多くの参会者の皆様から叱咤激励いただく機会を得ました。本校では「附属だからこそできる授業」であるとともに、皆様に「自分の学校でもぜひやってみたい」「こういう手立てなら、力がつくに違いない」と思っていただけの授業を目指しています。引き続き、忌憚のないご意見を賜りますれば幸いです。

各教科等だけでなく、本校の帰国生徒教育における実践についてもまとめました。今年度は帰国生徒校外学習として上野・浅草方面に赴き、生徒が日本の文化に触れて考えを深め、全校で共有することができました。多様性を尊重する社会を生きる子どもたちの心に響く教育を、引き続き推進して参ります。

発行にあたり、各執筆教員にご指導をいただきました国立教育政策研究所、県内の各教育機関、埼玉県連合教育研究会、埼玉大学教育学部の先生方に、心より御礼申し上げます。

令和5年5月に本校で開催される第72回中学校教育研究協議会につきましては、埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、埼玉県連合教育研究会、埼玉県中学校長会、さいたま市中学校長会、埼玉都市町村教育委員会連合会のご後援を賜り、計画しております。ご多用のこととは存じますが、ぜひご参会の上、ご指導くださいますよう、よろしく願い申し上げます。

令和5年3月

副校長 三浦 直行

【令和5年度 中学校教育研究協議会】

研究主題 挑戦心を育む「令和の日本型学校教育」の実現
～挑戦心を高め、思考を深める協働的な学びのデザイン～

期 日 令和5年5月23日（火）、24日（水）
（1日目）国語、数学、理科、音楽、美術
（2日目）社会、保健体育、技術・家庭、英語、学校保健